

2024年度

南山大学
自由応募型インターンシップ
報告集

南山大学

キャリア支援課

NANZAN
UNIVERSITY

受入機関別目次

	受入機関名	学部	学科	学年
1	愛知県庁	人文学部	心理人間学科	3年
2	春日井市役所	人文学部	日本文化学科	3年
3	春日井市役所	法律学部	法律学科	3年
4	可児市役所	人文学部	心理人間学科	3年
5	可児市役所	法律学部	法律学科	3年
6	蟹江町役場	外国語学部	ドイツ学科	3年
7	岐阜県庁	人文学部	人類文化学科	1年
8	岐阜県庁	総合政策学部	総合政策学科	3年
9	小牧市役所	法律学部	法律学科	3年
10	静岡県庁	経済学部	経済学科	3年
11	津市役所	法律学部	法律学科	3年
12	東濃子ども相談センター	人文学部	心理人間学科	4年
13	豊川市役所	経済学部	経済学科	3年
14	豊橋市役所	人文学部	人類文化学科	1年
15	豊橋市役所	経営学部	経営学科	3年
16	名古屋市役所	法律学部	法律学科	3年
17	四日市市役所	総合政策学部	総合政策学科	3年

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部心理人間学科	学 年	3年
インターンシップ・仕事体験先名	愛知県庁 スポーツ局 アジア・アジアパラ競技大会推進局企画調整課, アジア・アジアパラ競技大会推進局計画推進課		
業 種	公務（地方）		

研修期間： 9/4(水)～9/9(月) 実研修日数：5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
9/4(水)	チラシ配布準備, 打合せ立ち合い	東大手庁舎 企画調整課			
9/5(木)	ボランティア募集業務, バリアフリー化推進業務	東大手庁舎 計画推進課			
9/6(金)	2年前イベントチラシ封入, 発送準備	東大手庁舎 企画推進課			
9/7(土)	ふるさと全国県人会まつり	久屋大通公園			
9/9(月)	チラシ発送準備, 動画撮影立ち合い, 業務報告会	東大手庁舎 企画推進課			

【研修テーマ（目標）】

自身の研修テーマ；

- ① アジア・アジアパラ競技大会の推進業務とは具体的にどのようなものか、それを通して仕事・行政とは何かを学ぶこと
- ② 業務全体に共通していることは何かを考えること
- ③ 心理人間学科で学んでいることをどのように活かすことができるか

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

以前からアジア・アジアパラ競技大会に関心があり、それに加えて行政の仕事に興味をもったため。また、所属している陸上競技部で、名古屋ウィメンズマラソンの大会運営に携わったことで、より規模の大きな大会の成功のために貢献できることがしたいと考えたため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

- ・ 県人会まつり配布用のチラシセッティング
- ・ 県人会まつりでの公式マスコット（ホノホン）出演に関する打合せ
- ・ 県人会まつり資材事前搬入作業
- ・ 県人会まつり当日（マスコットグリーティングでの広報写真撮影、チラシ配布）

- ・ 県政レポートに関する打合せ（動画制作や写真使用について）
- ・ ボランティア募集チラシのデザイン、内容についての話し合い
- ・ 宿泊施設バリアフリー化書類のExcelを用いた事務手続作業

- ・ イベントチラシ配布のための事務作業（封筒封入，宛名貼り）
- ・ ボランティア募集動画撮影，インタビュー立ち合い
- ・ 業務報告会（5分程度のプレゼンテーション）

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

インターンシップを通して，以前から関心のあったアジア・アジアパラ競技大会の具体的な業務に携わること，行政としての役割を理解することを学ぶことができた。アジア・アジアパラ競技大会を業務のゴールとするのではなく，大会を通して県の発展を図るといった面や，大会のためだけにバリアフリー化を推進するだけではなく，その後も残るものに関する業務を担うということは行政ならではの感覚だと感じた。また，視野を広く持つこと，何事に対しても客観的な視点を持つこと，臨機応変に対応する力，組織の一員として人とのつながりを大切にすることは，仕事全体に共通していることであると再認識することができた。

【今後の課題・目標】

上述したことではあるが，視野を広く持ち，多角的に物事を見ること。臨機応変に動ける対応力，自分の意見を伝えるための要約力をつけること。人とのつながりを大切にすること。

【選考があった場合、内容など】

スポーツ局 アジア・アジアパラ競技大会推進局企画調整課，アジア・アジアパラ競技大会推進局計画推進課の志望動機

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- PORTA 企業 Web 就活サイト インターンシップ協議会
- 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 知人・友人など
- その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部日本文化学科	学 年	3年
インターンシップ・仕事体験先名	春日井市役所 介護・高齢福祉課		
業 種	公務(地方)		

研修期間： 8 / 6 (火) ～ 8 / 7 (水) 実研修日数：2日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/6(火)	高齢者福祉サービス概要説明・見学	介護・高齢福祉課			
8/7(水)	入力業務・封筒詰め業務・窓口見学等	介護・高齢福祉課			

【研修テーマ（目標）】

市役所の具体的な業務を知ることで、自身が実際に働くイメージを明確にする。
住民サービスや窓口業務を通して、住民との関わりを知る。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

- ・就職先として検討している春日井市役所の業務を実際に体験したいと考えたため。
- ・事務や窓口対応、住民と密接にかかわる業務など具体的な業務内容を知り、実際に体験して学びたいと考えたため。
- ・職員の方の雰囲気や働き方、業務への取り組み方などを知ることで、自分が働く際の具体的なイメージをつかみたいと考えたため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

- ・高齢者福祉サービスの説明
「高齢者福祉サービスガイド」という資料に基づき、介護・高齢福祉課の行っている業務について、インターンシップ担当の方から説明を受けた。

・窓口見学

実際に介護・高齢福祉課に手続き等をしにいらっしゃった住民の方に対する職員の方の対応を見学し、「高齢者福祉サービスガイド」で学んだ内容と照らし合わせて、確認した。窓口対応をしていた職員の方からも説明を受けつつ、サービスの理解が深まってからは、必要な書類を取りに行ったり、手続きに必要な通帳のコピー等を手伝ったりした。

・封入業務

介護サービスを利用される方に送付する郵便物の宛名と必要な書類を確認し、折って封筒に詰めた。認定結果の印字された介護保険被保険者証、配食サービスのサービスを受けるご本人と配食サービス事業所への郵便物、死亡による保険資格喪失の郵便物の封入等。

・郵便業務

郵便を宛先の地区ごとに分け、印刷機で印刷し、所定の籠に分けた。届いている郵便物を受け取った。

・情報入力業務

調査員の方の作成した郵便物がうまく届いていない住居の調査資料の特記事項を PC に入力した。死亡した方の情報入力を行った。

・審査会の説明と準備見学

要介護認定の認定調査と主治医意見書のコンピュータによる結果判定をもとに、専門家が集まり、審査・判定を行う審査会の資料や機器の準備を見学した。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

春日井市役所の職員の方の雰囲気や働き方を体感できた。行っている住民サービスを学び、実際に窓口業務の見学と手伝いをする事で、住民サービスの学びを深めることができた。

【今後の課題・目標】

春日井市の施策について高齢者福祉や子ども、企業など特に興味のある分野について詳細に調べる。試験勉強をする。面接カードの作成。面接練習。

【選考があった場合、内容など】

- ・顔写真
- ・「志望動機」自己 PR（200 字程度）、インターンシップで学びたいこと（200 字程度）
- ・「受け入れ希望の情報」受け入れ希望先、受け入れ希望理由（1 行）、受け入れ希望日程
- ・電子申請・届出システムより申込
- ・7 月下旬頃に春日井市のホームページで受け入れの可否が発表された

【後輩へのアドバイス】

介護・高齢福祉課のインターンシップでは、高齢者福祉サービスの専門的な知識を得ることができる。インターンシップ担当の方が体験したい業務などを聞いてくれたので、そこでしっかり答えられるようにしておく必要がある。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 () 知人・友人など
- (○) その他 以下に記述

[春日井市のホームページ・令和 6 年度インターンシップ情報のページ]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	法学部法律学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		春日井市役所	
業 種		公務（地方）	

研修期間： 8/2（金） ～ / （ ） 実研修日数：1日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/2(金)	業務内容説明・体験	地域共生推進課			

【研修テーマ（目標）】

市役所の業務を知り、働き方のビジョンを具体化する。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

公務員を第1志望にしており、働く業種を考える上で市役所の業務を体験してみたかったから。また、春日井市は私が住んでいる市の隣にあり、自宅から通いやすいため市役所勤務を目指す場合、春日井市を受けようと考えていたから。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

・地域共生推進課の業務説明

春日井市役所の体系から地域共生推進課が特に力を入れて取り組んでいる重層的支援体制整備事業の内容まで幅広く春日井市役所のことについて説明を受けた。

・健康増進課の方と民生委員児童委員協議会に参加

主に地域包括支援センターの方と民生委員との意見交換を見学した。

・春日井市の公式 LINE の文書作成

オンラインひきこもり教室開催の告知をする文章を作成した。

・社会福祉協議会に入ったクレーム対応の見学

生活困窮者の自立支援を地域共生推進課が春日井市社会福祉協議会に委託しており、その委託先で起きたトラブルに対する事情聴取とこれからの対応についての話し合いを見学した。

・フードドライブ事業で寄付された食品の記録

こども食堂や地域食堂に配布するために市に寄付された食品の賞味期限や重さ、個数の記録を行った。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

市役所は窓口業務が多く、地域住民との関わりが多いイメージを持っていた。実際は、窓口業務以外でも考えていた以上に地域住民との関わりが多かった。また、市役所内でも、課内の繋がりや課外の繋がりが強固で、さまざまな部署と連携して業務を進めていたのが印象的であった。

私は、1つのことを極めるような仕事をしたいと考えていたため、頻繁に部署が変わるジョブローテーションには否定的だった。しかし、部署が変わることで、今まで自分が学んできた知識を活かして次の部署での業務に当たることができるのだと実感した。多様な職務の経験を積むほど違った視点で物事を見ることができるようになるのは非常に興味深いと感じた。

【今後の課題・目標】

春日井市役所を目指すにあたっては、春日井市の強みや、政策でこれから強化できる点などの分析が必要。また、地域共生推進課の方に、法学部でこの課を志望するの珍しいねとお言葉をいただいたので、納得していただけるように今回の就業体験を活かして志望理由を詰める必要がある。

【選考があった場合、内容など】

基本情報、志望動機を春日井市の電子申請・届出システムで提出。

志望動機の内容

- ・自己 PR
- ・インターンシップで学びたいこと
- ・希望部署名とその理由（第3希望まですべて）

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 () 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部心理人間学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		可児市役所	
業 種		公務(地方)	

研修期間：9/9(月)～9/13(金) 実研修日数：5日間		
日 程	内 容	受入部署
9/9(月)	業務内容説明、イタリア料理教室の補助、切手貼り業務	地域協働課 春里連絡所
9/10(火)	ラジオ体操、桜ヶ丘大学の高齢者学習講座の補助、地域の秋祭りに向けての確認業務、翌日に使うプールの空気入れ業務、ゴミ袋幅広サイズを販売することを知らせるポップ作り、会計点検	地域協働課 桜ヶ丘連絡所
9/11(水)	ラジオ体操、乳幼児教室プール遊びの補助、会議の資料を仕分ける業務、中学校にボランティアをお願いする資料を渡しに行く同伴、秋祭りの抽選会のポスター作り、抽選会の抽選券を数える業務	地域協働課 桜ヶ丘連絡所
9/12(木)	高齢者防災講座の補助、講座後の資料作り、地域パトロールの名簿作り、回覧資料の枚数を数える業務	地域協働課 帷子連絡所
9/13(金)	イベントの配付資料をホチキスで留める業務、成人式のファイル名を変更する業務、留学イベントの感想を写す業務、イベント情報のお知らせを作る業務、市の魅力に関するグループディスカッション	地域協働課 秘書政策課

【研修テーマ（目標）】

受入機関：学生の就業意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深めてもらうことを目的とする。

自身：業務に対する理解を深めるとともに、自分自身の強みや課題を見つけ、今後のキャリアプランの方向性を考えることを目標とする。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

公務員を志望していることと、自身が生まれ育った土地に関わりを持てる仕事に魅力を感じていたので、可児市役所に応募した。また、窓口業務以外の具体的な業務内容を知りたかった。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

(9月9日) 本庁において可児市の現状と問題点、地域協働課が手がけている業務についての説明をしていただいた。市の総合計画を中心に教えていただいた。その後、春里連絡所へ移動し、料理教室の参加者と共に料理を行い、片付け作業まで行った。実際にイタリアンの店を営んでいる方に料理を教してもらいながら、地域の方々と和やかな雰囲気で行った。

(9月10日) 桜ヶ丘連絡所において、午前中は高齢者講座の補助を体験した。具体的には、会場作りや受付業務を行った。午後には、連絡所内での事務的な業務が中心であった。その都度、イベントの詳細や、連絡所での窓口業務についての説明があり、地域の資料をたくさんいただいた。

(9月11日) 桜ヶ丘連絡所において、午前中は乳幼児教室のプール遊びの補助を行った。プールの水入れや、乳幼児やその保護者と交流をしながら運営の手伝いを体験した。午後には、地域の秋祭りに関する業務を体験した。

(9月12日) 高齢者向けの防災講座の補助を行った。防災ベッド作りや新聞紙スリッパ作りの補助を中心に行った。また、受付業務を行った。午後には、午前中に行った高齢者講座の振り返り資料を作成した。自身で撮影した写真を用いてまとめた。

(9月13日) 午前中は地域協働課における事務業務を行った。午後には、秘書政策課においてインスタグラムで知らせるイベント情報の投稿を作成した。その後は、市の魅力に関するグループディスカッションを他のインターンシップ生と共に行った。

【インターンシップ・仕事体験の成果(得たこと)】

インターンシップを通じて、市役所の業務を一部ではあると思うが学ぶことができた。特に、地区センター業務が多かったため、地区センターで働くことについてのイメージをもつことができた。

【今後の課題・目標】

可児市に関する情報や市政についての知識を多く持つ必要があると感じた。また、自身が市役所で働いたらどのような部署で働きたいかを考えておくと良いと思う。

【選考があった場合、内容など】

エントリーシートによる選考。応募の理由とインターンシップを通じて得たい学びを記入し提出した。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA (○) 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
() 学内イベントや就業実践研修(旧インターンシップ研修)の授業 () 知人・友人など
() その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	法学部法律学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		可児市役所	
業 種		公務（地方）	

研修期間： 2024/8/5（月）～ 8/9（金）、 9/3（火）、9/9（月） 実研修日数：7日間

日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
08/05	・会場の設営や講座の受講者の方の対応	人事課 →土田 連絡所	08/09	・地区センター講座の引率 ・人事課の方と面談	広見東地区センター →人事課
08/06	・会場の設営や講座の受講者の方の対応	土田 連絡所	09/03	小中学校児童生徒の夏休み課題作文の集計作業	地域協働課
08/07	・地区センター祭り企画立案のお手伝い	土田 連絡所	09/09	可児市男女共同参画推進審議会（会議準備の手伝い、会議の傍聴）	地域協働課
08/08	・アンケートの集計 ・生涯学習コーディネーター養成講座 ・会議、座談会へ参加	地域協働課 秘書 政策課			

※もともと5日間の予定であったが、人事課の方へ要望し、9月の2日間追加。

【研修テーマ（目標）】

受入機関研修テーマ

学生の就業意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深めてもらうことを目的とする。

自身のテーマ

自分自身が今までとは異なる職員という立場で市政事業に関わる事で、市民と職員、両側の考え方や意見を学び、自分が職員としてすべきことを理解する事により、主体性や創造性、柔軟性を身につける。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

大学1年次から2年次にかけて、可児市成人式実行委員会副会長・サポーターを務め、市役所の職員の方と協力して成人式の企画をした。そこでは、学年の異なる者が集まった中で柔軟な対応力を身につけ自分の役割を全うし、その他の部分は、協力、分担、相談する事でよりハイレベルのものを完成できることを学んだ。また、子育てや教育、多文化共生に力を入れる可児市の、多文化共生センターフレビアにおいての多文化共生フェスティバルに参加したり、健康プラザマーノなどの施設を積極的に利用したりするなど、市の活動に支えられてきた。これらは、大学で、比較憲法から考える「多文化共生社会」について研究する私にとっては、とても魅力的だと感じた。

これらの経験から、今度は、自らが可児市に関わるイベントの企画・運営・支援などを通して、市に貢献したく、可児市役所で就業体験をしたいと考えたため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

可児市市政経営計画の4つの重点方針のうち、3つめの方針である地域・経済の元気づくりにおける重点施策の地域課題解決力の向上についての主な取り組みである、地域の活動拠点としての地区センターの活性化、地域づくり型生涯学習講座の充実に関わる体験をした。

具体的には、①地区センターで開催される講座の会場の設営や受講者の方の対応、②地区センター祭りや子供向け講座の内容、チラシ案を考える、③地区の観光スポットの紹介、④ディベートへの参加と座談会などがあった。

追加の2日間は、各課の説明や案内に加え、⑤パソコンで小中学校児童生徒の夏休み課題作文の集計や整理の作業をしたり、⑥可児市男女共同参画推進審議会の準備や、傍聴をしたりした。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

地区センターでの業務

①そのときに何をしたら良いかを自分で考え行動したり、職員の方に積極的に質問や相談をして、職員として次にどのような行動をとるべきか考えたりなど主体性や柔軟性を少しでも生かすか考え行動でき、これらの能力の向上を感じた。

②子供たちが作りやすいものや大人でも楽しめるものを考えたり、生涯学習コーディネーター養成講座を傍聴し地区の特色を生かしたりなどあらゆる立場において客観的な視点をもち考えることの大切さを学んだ。郷土愛を育むための教育・講座をする事により生まれ育った場所へ還元されることなどのメリットについても学んだ。

③地元民でも知らない情報を教えていただいたり、新しく作られた場所へ実際に連れて行っていただいたりしてより地元のことを学べる良い機会だった。

本庁での業務

④「これからの可児っ子が可児市に住み続けるにはどうすべきか、可児市での思い出も考慮しながら具体的施策を提案する。」を議題として、自分の経験を生かし、かつ、解決が必要である重要部分を理解しつつ、自分がどのような役割を果たすべきかを考えて意見を出せた。その後にあった座談会においても可児市役所の雰囲気や実際に働く人に志望動機、やりがい、有休など諸休暇のとりやすさなど有益な情報をいただき、参考になった。その他、仕事をする上で大切なことも学び、職員の方が楽しそうに誇りを持って働かれていると感じた。やりがいがある仕事だと自身を持って行動できることが分かった。

⑤本庁で日常業務の一部をお手伝いをする事ができ、自身が働く姿を想像することができた。

⑥「可児市男女共同参画プラン2023」の進捗状況や、令和5年悩み相談・法律相談、各講座の実績、「第4次可児市男女共同参画プラン」の具体的計画について、事務局（可児市役所職員）と、委員（可児市民代表）が説明や意見を交わしており、可児市の取り組みの現状等を知ることができたとともに、自身のテーマにある市民と職員、両側の考え方や意見を学び、職員としてすべきことを理解する事ができた。

【今後の課題・目標】

- ・可児市についてもっと知る（政策面、観光面等）
- ・唐突に意見を求められたときにうまく返すことができなかつたため、事前学習等を徹底する。
- ・採用試験の勉強

【選考があった場合、内容など】

受け入れ決定後、履歴書の提出を要する

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA (○) 企業Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- (○) 学内イベントや就業実践研修(旧インターンシップ研修)の授業 () 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[

]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	外国語学部ドイツ学科	学 年	3
インターンシップ・仕事体験先名		蟹江町役場	
業 種		S0201:公務(地方)	

研修期間： 9/2 (月) ～ 9/6 (金) 実研修日数：5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
9/2(月)	選挙啓発業務等	総務課			
9/3(火)	財産管理業務等	総務課			
9/4(水)	窓口業務、軽自動車の登録事務、申立車両及び固定資産の現地調査、調整給付金に関する事務等	税務課			
9/5(木)	同上	税務課			
9/6(金)	同上	税務課			

【研修テーマ (目標)】

地方公務員の仕事を実際に見聞きして体験する。
その自治体の雰囲気や魅力、政策を知る。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

総務課と税務課を希望した理由は、財務と運営の面で役場の行政を全体的に把握できる部署であり、また住民課や保険医療課と比べて住民と関わるのが少なく業務内容が推測しづらいため。また南山大学の卒業生も多く在籍しているので、職場の雰囲気や試験勉強について聞きやすいと考えたため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

午前9時～午後5時 (昼休憩 60分)

服装はビジネスカジュアルやスーツ (夏場はジャケット・ネクタイなし) 推奨

9/2(月)

- 09:00-10:00 オリエンテーション
- 10:00-11:00 選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会の会場の準備
- 11:00-12:00 財政係の調査同行、寄贈品の確認
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-14:00 会議事前準備
- 14:00-15:00 会議参加
- 15:00-16:00 閉庁の準備
- 16:00-17:00 会議結果のデータ入力

9/3(火)

09:00-09:30 新聞の切り取り
09:30-10:00 郵便局へ集荷
10:00-11:00 公示業務
11:00-11:30 データ入力
11:30-12:00 受付の付き添い
12:00-13:00 昼食
13:00-16:30 町有地の現地調査、観光交流センター（祭人）と保健センターへ訪問、見学
16:30-17:00 受付の付き添い

9/4(水)

09:00-10:00 税務課についての説明
10:00-11:00 津島税務署訪問
11:00-11:30 土地関連地図を見る
11:30-12:30 昼食
12:30-15:30 データ入力、雑談
15:30-17:00 水道事務所見学、軽自動車税関連の現地調査

9/5(木)

09:00-11:30 定額減税の調整給付金受付
11:30-12:30 昼食
12:30-16:00 データ入力、市税についてのお話
16:00-17:00 明日の説明、雑談

9/6(金)

09:00-12:00 産業文化会館と歴史資料館、名古屋法務局津島支局の訪問見学、土地調査体験
12:00-13:00 自治体の税について説明
13:00-14:00 昼食
14:00-16:00 固定資産評価のデータ入力
16:00-17:00 雑談（職場の雰囲気や地方公務員の仕事について）

蟹江町ではクールビズを5月1日から10月31日まで実施しているため、5日間ともスーツ(軽装、ネクタイなし)でインターンシップに参加した。

初日について、オリエンテーションは総務課の方からインターンシップの説明や蟹江町や役場の特徴について説明を受けた。9月は選挙関連の活動(公職選挙法第十九条)があるため、実際の会議に参加することができた。

2日目は、祭人（蟹江町観光交流センター）と保健センター(こども家庭センター)に訪問した。祭人では二階の須成祭ミュージアムで須成祭の歴史についてお話を聞いた。また保健センターでは職員から職場の雰囲気や業務について聞いた。

3日目は水道事務所に訪問して施設を見学したりマンホールカードというものを貰ったりすることができた。元々見学する予定はなかったがインターンシップがスムーズに進んで時間が余っていたため行くことになった。

4日目のデータ入力は定額減税に関連したものをパソコンに入力するもので、その過程である程度の税金について知識を身につけることができた。

最終日は税務課の固定資産税係の業務体験をした。具体的には祭人の施設を計測して、そのデータをパソコンに入力した。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

・魅力、成果（蟹江町や自治体に関して）

アメリカ合衆国イリノイ州マリオン市と姉妹都市提携を締結している。

須成祭がユネスコ無形文化遺産として登録されている

市町村合併に伴い水道事業も統合されるなか、蟹江町は水道事務所を有している。

有給休暇とは別に特別休暇として夏季休暇があり、取得できる日数は自治体によって異なるが蟹江町では5日間取得することができる。

公務員として行政事務に一定期間従事すると行政書士試験が免除される。

名古屋市に近く、近鉄蟹江駅とJR蟹江駅があるため利便性が高い。

南山大学のOBOGと話ことができ、職場や町の雰囲気をつかむことができた。

上記以外にも守秘義務があるためここには書けないが、実際にインターンシップに参加しないと知ることのできない魅力がいくつかあった。

【今後の課題・目標】

蟹江町は自治体としては珍しく採用試験で専門試験があるが、教養試験のみの自治体より倍率は低くなると考えられる。他の専門科目のある試験は、愛知県庁や名古屋市役所、国家公務員でも行われている。年内にある程度問題を解けるよう参考書を何周かやっておきたい。

【選考があった場合、内容など】

選考なし。

希望する日程と部署を自由に選択できた。

キャリア支援課に履歴書とエントリー報告書の提出する必要がある、その締め切りは6月14日だった。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

() PORTA (○) 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会

() 学内イベントや就業実践研修(旧インターンシップ研修)の授業 () 知人・友人など

(○) その他 以下に記述

[大学経由であったが、PORTAのイベント案内には載っていなかったので注意。]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部人類文化学科	学 年	1 年
インターンシップ・仕事体験先名		岐阜県庁	
業 種		公務（地方）	

研修期間： 8 / 8（木）～ 8 / 29（木） 実研修日数： 10日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/8	・オリエンテーション ・図書資料の確認作業	岐阜県歴史資料館	8/22	・古文書整理業務 ・広報課デザイン指導同行	〃
8/9	・歴史資料整理業務 ・館内避難経路案内作り	〃	8/26	・教育関係資料の目録作成業務 ・常設展、古文書講座打ち合わせ出席	岐阜県歴史資料館
8/19	・寄贈資料目録作成業務 ・歴史資料整理業務	〃	8/27	・廃棄資料処分業務 ・目録確認・修正業務	〃
8/20	・公文書整理保存業務 ・不要公文書廃棄業務	〃	8/28	・目録確認・修正業務	〃
8/21	・廃棄資料の仕分け ・古文書講座同行 ・総務部次長面会	岐阜県歴史資料館、岐阜県庁	8/29	・行政資料目録作成業務 ・古文書保存業務 ・インターンシップ実習生による報告会（オンライン）	〃

【研修テーマ（目標）】

資料の整理や保存業務の詳しい内容や蒐集した資料をどのように活用しているのかなど具体的な仕事内容について学ぶ。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

岐阜県歴史資料館での、資料の記録や保存を中心に講座の開催や見学の受け入れなどを通じて様々な方々に地域の歴史に興味を持ってもらうための取り組みに興味を持ったから。また、私自身学芸員資格の取得を目指していたため、実際に歴史資料の保存や活用方法について知りたかったから。今回私が応募したのは有給長期インターンシップだったが、実際に会計年度任用職員として長期間公務員として働くということにも興味があったから。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

- ・ 図書資料の現物確認作業
- ・ 歴史資料の整理、保存に関する業務補助

・公文書の保管場所のデータ化に関する業務補助

※本来は一か月間（平日週4日勤務）の実習でしたが、私は夏季集中講義と日程が被ることを防いだことで10日間の実習になりました。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

資料を「見る」側ではなく「見せる」側として実際に業務にあたったことで、普段経験することのできない資料の保存・管理に携わることができました。私たちが過去の資料を見て学びや研究に活用できるのはこういった場所での職員の皆さんが地道ながらも正確性が求められる丁寧な作業があったからこそだと感じました。

【今後の課題・目標】

今回は自分が好きで興味のある分野のインターンシップに参加しましたが、まだ大学一年生ということで自分の進路についてまだ深く考えたことはありませんでした。今後も公務員・民間企業の幅広い分野についてインターンシップなどを通して知り、将来を考えるきっかけにしていきたいと思います。

【選考があった場合、内容など】

ZOOMでの面接（面接官：3人）

- ・自己紹介 ・採用選考申込書に描かれていることの確認
- ・志望理由 ・公務員について知っていること ・友人は多い方か
- ・質問はあるか など

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 () 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学生番号	2022PP097	氏 名	勝 陽佑
学部学科	総合政策学部総合政策学科	学 年	3年
インターンシップ・仕事体験先名	岐阜県人事委員会		
業 種	公務(地方)		

研修期間： 9 / 3 (火) ～ 9 / 6 (金) 実研修日数：4日間		
日 程	内 容	受入部署
9月3日 (火)	ケアラー、孤独孤立支援の説明(地域福祉係) おもいやり駐車場、福祉人材確保の説明(福祉人材係) ケアラー支援有識者会議の準備	健康福祉部 地域福祉課
9月4日 (水)	生活保護、生活困窮者自立支援の説明(生活支援係) 生活困窮者自立相談支援に関する研修への参加 福祉行政報告例関係の集計	同上
9月5日 (木)	高齢者福祉の説明(地域福祉第一係) 障がい者福祉、児童福祉の説明(地域福祉第二係) 生活保護の説明(生活福祉係) 岐阜地域ドメスティックバイオレンス防止協議会の参加	健康福祉部 岐阜地域福祉事務所
9月6日 (金)	笠松町生活困窮者支援調整会議の参加 生活保護受給者等家庭訪問の同行 生活福祉係員との意見交換	同上

(台風の影響により月曜日は中止となりました。)

【研修テーマ(目標)】

実際に県庁職員として働いている方々の意識や大事にしていることを知る。
そもそも公務員が自分に合うのかどうかを知る。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

(岐阜県庁に提出した志望理由の引用になります。)

私が生まれ育った岐阜県の福祉に関する活動を現場で学ぶことで、より多くの県民が健やかに生活を営むには何が重要なのかを理解したいと思い、地域福祉課を志望しました。私は大学のゼミ研究で社会保障法に焦点を当て社会福祉行政と法政策への理解を深めています。ゼミ研究の中で社会保障制度がどのような方法で運用されるのかなどを学んでおり、実際の行政の現場で働く方々がどのような姿勢で取り組んでいるのかに大変興味を持っております。さらに、生活保護制度や生活困窮者自立支援制度など、県民の健康で文化的な最低限度の生活を保障しつつも自立を助長させる活動は、国や市町村、社会福祉法人など様々な機関と連携する県の役割がとても重要であり、その役割に魅力を感じています。福祉サービスを提供する行政は、支援制度を活用する県民に寄り添った説明や相談が必要であると同時にその支援制度が滞りなく運用できるような環境づくりも必須になります。私は県民に直接的・間接的問わず貢献する職員の姿勢を見て、将来、岐阜県庁の職員として何ができるのか、県民が健やかに生活を営むために必要な行動はどのような行動なのかを見つめたいと考えています。

上記とは別の理由として、公務員か民間か非常に迷っていたので実際の職場の雰囲気や職

員の意見を聞いて自分の進路を考えたいという思いがありました。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

2日目の研修は各市町村の社会福祉協議会で働いている方に向けた研修でした。新型コロナウイルスが流行していた時期に行われた「コロナ特例貸付」に対する反省や改善がテーマでした。

3日目の岐阜地域ドメスティックバイオレンス防止協議会は年に1回程度開かれる会議であり、市町村、社会福祉協議会、警察署、保護施設、NPO 団体の方々が集まりました。

4日目は生活保護の家庭訪問以外にも生活保護の申請の場や生活保護の受給を停止するかどうかの場にも立会いました。

事務的な入力作業もありましたが、全体を通して現場の同行や会議の参加が多い仕事体験になりました。最終日の午後には他の課のインターンシップ生と意見交流する場が設けられていたので、所属先以外の知識も得ることが出来ました。グループワークのようなものではありませんでした。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

一番の成果は繋がり的重要性を学ぶことが出来たことです。県民と職員の繋がりだけではなく、職員と職員同士や他の行政機関、公的機関、NPO 団体などいかに連携していくかが大事だと改めて実感しました。また、今まで漠然としていた公務員(県庁職員)の仕事内容や雰囲気体が感できたことも成果の一つだと考えます。

【今後の課題・目標】

職員の方からポジティブな意見とネガティブな意見の両方を率直に伝えて下さったことや必ずしも私自身の就活の軸と全て重なるわけではないという点を考慮すると、民間企業も視野に入れながら就職活動を進めるようにしたいと考えました。試験倍率はかなり高くなりますが SPI を用いた試験を受験するののも一つだと考えるようになりました。

また、普段から全国のニュースと岐阜県や東海地方のニュースを見るようにしたいと考えました。

【選考があった場合、内容など】

・「実習希望所属及び希望した理由等を具体的に記入してください。」

大きく「理由・目的」と「学びたい内容・希望所属のHPを見て関心を持った事項」の二つに分かれていました。二つ合わせて 1000 字以内となっていた気がします。

8月～9月のインターンシップですが、応募締切が5月末とかなり早いので注意した方が良いでしょうと思います。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修(旧インターンシップ研修)の授業 () 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学生番号	2022JJ294	氏名	鶴飼紗矢
学部学科	法学部法律学科	学年	学部3年
インターンシップ・仕事体験先名	小牧市役所		
業種	事務職		

研修期間： / () ~ / () 実研修日数： 日間		
日程	内容	受入部署
8/13	小牧市の概要 東庁舎内議事場・図書館・こども未来館・防災センター視察 座談会	人事課
8/15	行政改革課概要 (KIC) 小牧イノベーションチャレンジ MTG に参加 ペーパーレス化に伴う住民票のオンライン作成の周知方法の検討 スマホ教室	行政改革課
8/16	広報こまき記事確認 新聞室にて資料収集 本庁舎内案内 庁舎内動画撮影・動画編集	広報広聴課

【研修テーマ (目標)】

公務員として働くために必要なスキルや適性について実際に働いている職員の方との対話を通じて、積極的に学び、自身の公務員として働いた時のキャリアについて考える。また、行政改革課・広報広聴課の業務について詳しく学び、どのようにして施行されているのかを知る。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

公務員を志望しており、自身の地元である小牧市役所のインターンシップに参加することで、業界理解に努めたいと考えたから。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

- 1 日目はインターンシップに参加する学生が全員集まり、午前中は座学、午後は小牧市の施設の見学と座談会を行った。座談会では 2~3 年の若手職員の方とフランクにお話しすることができた。
- 2 日目の行政改革課では課内部のことだけでなく、市役所全体の風土、実際のやりがいなど多くお話しする機会があり、インターンシップ中にたくさんの質問をさせていただいた。
- 3 日目の広報広聴課では仕事の裁量の基準や市の Youtube チャンネルにアップされている動画の作成方法を実際の編集アプリを使いながら教えていただいた。

【インターンシップ・仕事体験の成果 (得たこと)】

インターンシップを通して、実際に働いている方の雰囲気ややりがいなどを知ることができた。市役所の仕事は堅いというイメージがあったが、動画制作や企業と市役所の MTG を通じて課の内部で広い裁量があることを知った。また積極的に社員の方とお話しさせていただいたことで自身が小牧市職員として働いた時のイメージを持つことができた。

【今後の課題・目標】

他の市役所や民間企業のインターンシップに参加することで自身のキャリアプランについてより具体的にイメージできるようにしたい。

小牧市職員の受験に向けて、公務員試験のために勉強したい。

【選考があった場合、内容など】

書類選考にて応募動機、大学で学んでいること等について2~4ほどの項目があった。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- PORTA 企業 Web 就活サイト インターンシップ協議会
 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 知人・友人など
 その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学生番号	2022EE002	氏 名	秋野蒼太
学部学科	経済学部経済学科	学 年	3
インターンシップ・仕事体験先名	静岡県庁		
業 種	行政		

研修期間： 8 / 7 (水) ～ 8 / 9 (金) 実研修日数： 3日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/7	オリエンテーショ ン	危機管理部			
8/8	出先機関の見学	危機管理部			
8/9	実務体験	危機管理部			

【研修テーマ（目標）】

研修を通して静岡県の直面している防災についての課題と今後の動向について知ること、また自分の知らない危機管理部で行われている業務についての知識を付ける。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

自身の地元が静岡県であり、静岡県庁の業務を体験したかったため。南海トラフが予想される昨今、自身が入庁した際にどのようなことを危機管理部で行えるかを考える機会を得るため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

一日目は静岡県庁の概要と危機管理部の主な取り組みと業務内容を説明していただいた。二日目は出先機関の原子力監視センターと地震防災センターの見学とグループワークを行った。三日目は実務の体験を行い、今後企画されている防災の対策の普及イベントの資料作成をおこなった。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

インターンを通して防災についての知識を得られただけでなく、県庁でどのようなことが行われているか、どのような出先機関があるかなどを知ることができた。また、その後の交流会を通じて他部署の魅力や県庁で働くことの魅力を知ることができた。

【今後の課題・目標】

公務員試験の勉強を進めていくこと。
県庁に入庁したい理由やガクチカなどを深堀してより具体的なものにしていくこと。

【選考があった場合、内容など】

書類選考のみ

【インターンシップ情報の入手先】※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- PORTA 企業 Web 就活サイト インターンシップ協議会
 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 知人・友人など
 その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	法学部法律学科	学年	3年
インターンシップ・仕事体験先名		津市インターンシップ	
業 種		公務（地方）	

研修期間：8/8(木)～8/15(木) 実研修日数：5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/8(木)	市民館見学 駐輪場見学	市民部			
8/9(金)	補助金に関するチラシ配布補助 スーパーの立入検査見学	市民部			
8/13(火)	市政アンケート集計 要望管理システムを用いた演習 掲示板等予定箇所現地確認 掲示板に係る事前審査の書類、決裁作成	市民部			
8/14(水)	窓口体験	市民部			
8/15(木)	報告書発表				

【研修テーマ（目標）】

市民課の業務を理解する

津市民の方々とのコミュニケーションを大切にして適切な対応をとる

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

私は津市インターンシップに参加しました。参加しようと思った理由は、市役所を志望しており、市役所の仕事内容について理解したい、市役所に勤めている職員の方から直接お話を伺いたいと思ったからです。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

1 日目は橿形市民館の見学と駐輪場の見学をしました。橿形市民館の見学では、館長さんから利用される方の年齢層やどのように利用されているのかについて説明を受けました。駐輪場の見学では、市民交流課の方から自転車等放置禁止区域を設定して駅周辺に放置された自転車の撤去を行っていることを教わりました。2 日目に行った補助金に関するチラシ配布活動では、家電量販店を回って特殊詐欺等被害防止機器を購入された 65 歳以上の方へ補助金を支給する内容が書かれたチラシを配布しました。スーパーへの立入検査見学では、経済産業省認定の量りを使って青果、精肉、鮮魚、惣菜の風袋量を除いた実量と表記量の差が許容範囲内かどうかの検査を行いました。3 日目の市政アンケート集計では、入力フォームにアンケート結果を入力する作業を行いました。こちらは市内の 18 歳以上の方 3,000 人を無作為に抽出して行うアンケートで、入力など殆ど全て手作業で行っていることが分かりました。要望管理システムの演習では、市民からいただいた要望を打ち出す作業を行いました。また、掲示板等予定箇所の確認では、新設又は取り替える必要のある掲示板の視察に行き、事前審査の書類と決裁の作成を行いました。4 日目の窓口体験では、班で役割を決めてペルソナに添って体験しまし

た。私は転入手続きを行う来庁者役として実際に書類の手続きを行いました。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

インターンシップを通して市役所の仕事内容や雰囲気を掴むことができ、実際に自分が市役所で働いている姿をイメージすることができました。行く前は市役所の仕事内容がどのようなものなのか全く想像ができず、漠然とお堅いイメージを抱いていました。しかし、津市役所の職員の方は優しい方ばかりで、そのような温かい雰囲気に囲まれて様々な業務を体験させていただきました。市役所は3～4年毎に部署の異動があり、まるで転勤した時と同じぐらい業務内容が変わり、一から覚えなければならぬという大変な面もあると沢山の職員の方が仰っていました。ですが、様々な業務を経験できることも市役所の魅力なのではないかと感じました。市民と深く関わるが故に直接感謝されることがある反面、苦情を言われることもあるとお聞きしましたが、もし私が市役所で働くことになった際には、どの部署に配属されても周りの方々とのコミュニケーションと“市民のために”という姿勢を忘れずに業務に携わりたいと思いました。とても有意義な五日間を過ごすことができました。

【今後の課題・目標】

公務員試験に合格して市役所職員になることを目標として掲げます。そのためにガクチカでアピールできそうな話題を集めたり、先輩方やキャリア支援課の方々から情報収集を行ったりすることが今後の課題であると考えています。

【選考があった場合、内容など】

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- PORTA 企業 Web 就活サイト インターンシップ協議会
 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 知人・友人など
 その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部心理人間学科	学 年	4 年
インターンシップ・仕事体験先名		岐阜県東濃子ども相談センター	
業 種		公務(地方)	

研修期間： 8/13(火) ～ 8/16(金) 実研修日数：4日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/13	インターンシップ 概要説明	所内			
8/14	療育手帳判定場面 同席, 心理教育	所内			
8/15	定例会議参加, 一時 保護所での所外活 動	所内			
8/16	里親について, イン ターンシップ報告 会	所内			

【研修テーマ (目標)】

自身：公務員心理職の働き方の実際を学び、職場で大切にされていることを学ぶこと

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

公務員心理職を目指しているため

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

療育手帳の判定や、保護している児童の教育に取り組んでいた。そのほかにも面接に来た家族を心理検査や聞き取り調査から分析し、所見を書いていた。虐待通告が入った時には緊急で会議を行って子どもの安全を確認しに行っていた。虐待により離れ離れで暮らしている子ども、その両親にそれぞれ会いにいき家族が再統合することができるように努力していた。

【インターンシップ・仕事体験の成果 (得たこと)】

児童相談所での働き方や、そこで働いている職員の方々がどのような考えを持って働いているのかを知ることができた。働き方としては、福利厚生が充実していて働くことに対して大きなやりがいを感じている職員の方々が多かった。その職員の方々は、子どもたちやその家族がよりよい暮らしをしていくためにどうしたらいいのか模索しながら、対応マニュアルに従いながら臨機応変にケースに対応しているということを知ることができた。加えて、公務員試験の対策についても教えていただくこともできた。

【今後の課題・目標】

公務員試験の勉強に励まなければいけないことと、面接対策のために心理や福祉方面の経験を積まなければならないこと。

【選考があった場合、内容など】

選考はなかった

【インターンシップ情報の入手先】※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- PORTA 企業 Web 就活サイト インターンシップ協議会
 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 知人・友人など
 その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	経済学部経済学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		豊川市役所	
業 種		公務（地方）	

研修期間：8/5(月)～8/9(金) 実研修日数：5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/5	水生生物調査・アンケート集計	本庁 環境政策係			
8/6	水生生物調査団 資材準備	本庁 環境政策係			
8/7	子ども環境体験 ツアー	本庁 環境政策係			
8/8	水生生物調査・ 苦情対応	本庁 環境政策係 環境保全係			
8/9	墓園清掃・ アンケート集計	本庁 環境政策係 環境保全係			

【研修テーマ（目標）】

<受入機関研修テーマ>

市における就業体験を通じて職業意識の向上や市政に対する理解を深めること。

<自身の研修テーマ>

豊川市の市民の暮らしを根幹から支える市役所の業務内容について知ること。

また、働くことに対する心構えや姿勢を学ぶこと。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

地元である豊川市を、最も市民に近い距離で支えているのが市役所だと思い、市役所に興味をもったため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

水生生物調査では、川にいる水生生物を採取して川のきれいさについて調べた。また、夏休み期間だったため、小学生の水生生物調査に同行した。環境学習に関するアンケートの集計も行った。苦情対応では市民から寄せられた苦情をもとに現地に赴き、現場の写真を撮影したり、直接話を伺ったりした。墓園の清掃も行った。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

職員の方が環境政策について議論されているところや、協力し合いながら電話や窓口の対応を行っている様子を見て、仕事をするうえでいかにチームワークが重要であるか学んだ。また、市民の方から直接感謝の言葉を述べていただくこともあり、やりがいとなる部分もみつけた。

【今後の課題・目標】

チームワークで重要なのは、周囲を見渡して何が必要とされているか判断し自分から動くことであると感じたが、何をすればいいかわからず職員の方に直接聞きに行くことが多々あった。聞くことは重要であるが、自分の業務に対する理解度がもっと高ければ自主的に行動できたと思うので、次に何をするのか前もってよく確認するようにしたい。

【選考があった場合、内容など】

履歴書を提出し、応募者が受入れ人数を超える場合には選考が行われる。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
() 学内イベントや就業実践研修(旧インターンシップ研修)の授業 () 知人・友人など
() その他 以下に記述

[市役所ホームページ]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	人文学部人類文化学科	学 年	1 年
インターンシップ・仕事体験先名		豊橋市役所	
業 種		公務(地方)	

研修期間： 9/2 (月) ～ 9/6 (金) 実研修日数： 5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
9/2 (月)	台風の影響により 中止				
9/3 (火)	出土品整理作業(洗 い)	美術博物館 (文化財セ ンター)			
9/4 (水)	遺跡発掘調査作業	美術博物館 (文化財セ ンター)			
9/5 (木)	・出土品整理作業 (注記) ・豊橋市美術博物館 のバックヤード見 学	美術博物館 (文化財セ ンター)			
9/6 (金)	遺跡発掘調査作業	美術博物館 (文化財セ ンター)			

【研修テーマ (目標)】

- ・出土品整理作業や発掘調査作業を実際に体験することで、文化財保護についての知識を深める。
- ・学芸員が実際にどのような仕事をしているのかを知る。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

- ・遺跡発掘調査作業に参加することができるインターンシップだったから。
- ・学芸員が働く現場を見ることで、自分の卒業後の進路について考える良い機会になると考えたから。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

- ・出土品整理作業 (洗い)：いろいろな種類の歯ブラシを使って遺跡発掘調査作業で出土した土器の土を洗い落とす。
- ・出土品整理作業 (注記)：洗いが終わった土器に日付や遺跡名、層位名などの必要な情報を筆で記入する。
- ・遺跡発掘調査作業：橋良遺跡での作業に参加し、測量や発掘を行う。
- ・バックヤード見学：一般公開されていない美術博物館のバックヤードを見学する。

【インターンシップ・仕事体験の成果 (得たこと)】

- ・実際に出土品整理作業や遺跡発掘調査作業に参加することで作業の難しさを味わい、経験

を多く積む必要があると分かった。

- ・文化財センターに勤める学芸員の業務を理解することができた。
- ・美術博物館のバックヤードを見学し、文化財の保護には多くの時間と人手が必要で、考えていたよりも非常に繊細で大変な内容だと知ることができた。

【今後の課題・目標】

- ・アルバイトやボランティアで参加できる遺跡発掘調査作業に積極的に参加し、作業技術を上達させる。
- ・公務員としての業務についても認識を深めるために、その他の市町村のインターンシップに参加する。

【選考があった場合、内容など】

Web 上で豊橋市インターンシップを志望した理由や応募動機、進路希望について回答する。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
- () 学内イベントや就業実践研修 (旧インターンシップ研修) の授業 () 知人・友人など
- () その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	経営学部経営学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		豊橋市役所	
業 種		地方公務	

研修期間： 8/12 (月) ～ 8/18 (日) 実研修日数：5日間					
日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/12	まち空間、子育てプラザの業務	こども未来館			
8/13	まち空間、子育てプラザの業務	こども未来館			
8/15	まち空間、子育てプラザの業務	こども未来館			
8/17	まち空間、子育てプラザの業務 高校生ライブイベントの補助	こども未来館			
8/18	まち空間、子育てプラザの業務 高校生ライブイベントの補助、質問会	こども未来館			

【研修テーマ（目標）】

豊橋市の職員の働き方を見ることで、この業種が自分に向いているかを考える。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

生まれ育った豊橋市で地域貢献できる仕事に就きたいと思っているから。
その中でもこども未来館を選択したのは、幼少期からよく利用していた施設で、利用する立場から運営する立場へと変わった時にモノの見方が変わるのではないかと思ったから。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

まち空間での業務：子供の対応、貸出キットの返却、貸出キットのメンテナンス、工作
子育てプラザでの業務：工作、見回り、掃除
高校生ライブイベントの補助：利用者への会場案内、ビラ配り、会場の片付け
質問会：インターンシップ担当の職員と5年目の女性職員に豊橋市役所について質問をすることができた。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

午前と午後で働く場所を入れ替えての業務を通したことで、自分にとって人や職場の雰囲気合うかどうかことが最も重要なことだと気づいた。周りの人で仕事を心から楽しい、やりがいがあると思っている人が多いと、自分のモチベーションも変わってくるということに気づいた。職場の雰囲気は、実際に職員や社員の方にあってみないとわからないことに気づいたので、SNSの情報を鵜呑みにせず、積極的にイベントに参加することが大切だと思った。
そして、もっと自己分析をして何が自分にあっていてあっていないのかを知ることで入社

後のミスマッチが防げると思った。

【今後の課題・目標】

働いている方と自分の考えがずれていることが少しあったので、なぜ自分はそう思うのか、他の考えと何が違うのかと自問を繰り返すことで自己理解が深まるのではないかと思った。

【選考があった場合、内容など】

PORTA から豊橋市役所のインターンを申し込む際に書類提出をする。

1. 市役所にエントリーシートを提出
 - ・自己 PR 等を含めて、豊橋市役所を選択した理由について記入してください。
 - ・就職について考えていることなど、将来の進路希望について記入してください。
 - ・希望部署とその理由
2. 保険加入の手続き
3. 大学やゼミの先生にエントリーしたことを報告、書類提出
4. 後日市役所から大学を通じてインターン受入可否のお知らせ

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

- (○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
() 学内イベントや就業実践研修 (旧インターンシップ研修) の授業 () 知人・友人など
() その他 以下に記述

[]

以上

【インターンシッププログラム】

学 部 学 科	法学部法律学科	学 年	3年
インターンシップ・仕事体験先名	名古屋市役所スポーツ市民局・なごや人権啓発センター		
業 種	地方公務		

研修期間： 2024 / 8 / 20 (火) ～ 2024 / 8 / 25 (日) 実研修日数：6日間

日 程	内 容	受入部署	日 程	内 容	受入部署
8/20	従事内容説明・作業・見学	スポーツ市民局	8/23	来館者対応・フェスタ景品袋詰め	スポーツ市民局
8/21	来館者対応（スタンプリリー・疑似体験の案内）	スポーツ市民局	8/24	夏の人権フェスタ「映画会」従事	スポーツ市民局
8/22	来館者対応・フェスタ景品袋詰め	スポーツ市民局	8/25	夏の人権フェスタ「映画会」従事	スポーツ市民局

【研修テーマ（目標）】

（受入機関研修テーマ）

市役所

学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を通じて、職業意識の醸成や実社会への適応能力の向上、市政への理解の促進を図ることを目的とする。インターンシップ等の参加を通じて、本市の仕事への理解を深め、名古屋市役所の魅力を少しでも感じてもらうこと。

なごや人権啓発センター

様々なイベント業務（例：人権フェスタ、人権セミナー）及びなごや人権啓発センターの来館者対応に従事し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民の方と接しながら、人権について学ぶこと。

（自身の研修テーマ）

- ・名古屋市役所における人権施策や人権意識向上のための活動・取り組みについて学ぶこと。
- ・名古屋市職員として働くビジョンを想像できるようにすること。
- ・実際に業務に携わることで社会人基礎力のうち、創造力、柔軟性を向上させること。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

自らが市に関わるイベントの企画・運営・支援などを通して市役所で就業体験をする事で、自分の力を向上させ、どう生かせるかを確認したいと感じた。特に通学している名古屋市は、東海地方の中心地であり政令指定都市として他の市町村より大規模なイベントが多く、積極的に企画に携わることで貴重な経験を得ることができると考えたから。

また、将来を見据え子育てや教育を重視する名古屋市に貢献したいと考える私にとって、地域の活性化により貢献できる市役所職員の仕事を実際に体験したいため。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

8/20

9:00～10:30 ソレイコプラザなごや概要説明・施設案内・疑似体験等説明

10:30～11:00 人権研修

11:00～12:00 課題の提示（最終日に意見交換）

- ・なごや人権啓発センターの認知度を高めるためには？など人権啓発をよりよくするための手段、方法等について考える

12:00～13:00

休憩

13:00～17:00 来館者対応（スタンプラリー・疑似体験の案内）、片付け

8/21、22、23

9:00～13:00 準備、来館者対応（スタンプラリー・疑似体験の案内）
フェスタ景品袋詰め

13:00～14:00

休憩

午後

来館者対応（スタンプラリー・疑似体験の案内）

17:00

閉館、片付け

8/24、25

夏の人権フェスタ「映画会」従事

9:00～12:00

展示室業務

12:00～13:00

休憩

13:00～13:30

展示室業務

13:30～14:15

受付、資料配付

14:15～16:00

展示室業務

16:00～16:30

アンケート回収、翌日準備

16:30～17:00

展示室業務、片付け

17:00～17:30

課題についての意見交換、フィードバック（25日のみ）

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

- ・職場内人権研修やなごや人権施策基本方針についての説明をお聞きし、名古屋市における人権問題の現状やそれに伴う制度等の変化について改めて知ることができた。
- ・子供から高齢者の方まであらゆる立場に立って考え、適切な説明や柔軟な対応の仕方を習得し、市役所職員としての土台となる事柄を実践する事ができた。
- ・名古屋市における人権意識向上の取り組み（ミニ映画、パラスポーツ、妊婦・高齢者体験、車椅子体験等）を実際に体験することができた。
- ・名古屋市ならではの活動や取り組みについての課題と新たな体験案等を出したことで、より名古屋市について知ることができ、名古屋市のこれからを見据えることができた。
- ・イベント系のスタッフ業務もあり、業務内容を幅広く知ることができた。
- ・市役所の方々に質問させていただける機会があり、仕事のやりがい、人事異動、昇進制度、本庁の環境、休みのとりやすさ、公務員試験のことなど多くのことを教えていただいた。
- ・センターを訪れた方から質問をいただいた際、自信をもった確実な応対を心がけ、行事等について予習をしておくことで、より満足していただけることを学んだ。

【今後の課題・目標】

- ・名古屋市の目標やそれを達成するための取り組みについて調べる、参加すること
- ・公務員試験の勉強

【選考があった場合、内容など】

名古屋市役所のインターンシップ特設ページの受付フォームに、個人情報、希望する受け入れ先の部署名（一箇所のみ選択可能）、志望理由を記入して送信をする。部署によっては自己PRなどを追加で記入を求められる可能性がある。スポーツ市民局なごや人権啓発センターにおいては、①希望の日程、②なごや人権啓発センターを選んだ理由と、人権関係で勉強したことなどの記載が求められた。その後、メールで受入の可否が通達され、誓約書を郵送で提出し、数日後、受け入れ先のインターンシップ担当の方と電話でスケジュールを調整する。書類選考・面談等はなし。

【インターンシップ情報の入手先】 ※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。

(○) PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会

(○) 学内イベントや就業実践研修（旧インターンシップ研修）の授業 () 知人・友人など

() その他 以下に記述 [

]

以上

【インターンシッププログラム】

学部学科	総合政策学部総合政策学科	学 年	3 年
インターンシップ・仕事体験先名		四日市市役所	
業 種		公務（地方）	

研修期間： 8/7（水） ～ / （ ） 実研修日数：1日間					
日 程	内 容	受入部署			
8/7（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向け出前講座の開催支援、 ・チラシの作成 ・人権センターの業務説明 ・市役所内の見学 	人権センター			

【研修テーマ（目標）】

四日市市役所と人権センターの業務内容をより深く知る。
 人権意識の普及と高揚を目的としたイベントや講演会にどのような工夫をしているのかを知る。
 現在の自分自身がすべきことや課題を得る。

【参加したインターンシップ・仕事体験に申し込んだ理由】

大学で障害者福祉、男女共同参画、子ども支援などの問題を学ぶ中で、大学で学んだ知識を活かして暮らしやすい街づくりに貢献したい、萬古焼やコンビナートの夜景などが魅力である生まれ育った四日市市に貢献したいと考えたようになった。
 四日市市の行政実務の就業体験をすることができるプログラムを通して行政分野の業務内容を理解し、職業意識を向上したいと考えた。

【インターンシップ・仕事体験の詳細な内容】

子ども向け出前講座の開催支援：富田こども園で人権に関する紙芝居の読み聞かせをした。
 チラシの作成：市内のイベントのチラシを Word で作成した。
 人権センターの業務説明：人権センターの目的や業務内容の説明をしていただいた。
 市役所内の見学：本庁舎で各課の案内と各課の業務内容の説明をしていただいた。

【インターンシップ・仕事体験の成果（得たこと）】

富田こども園での出前講座では、DVD の上映後に映像に出てきたキャラクターをこどもに聞くなど、個々のこどもに応じた対応の重要性を学んだ。実際にイベントのチラシ作成をさせていただくなど、事務業務も経験させていただいたことで、細かい点まで知ることができた。また、業務に対する社会人としての心構え、市民の生活をサポートさせていただく重みも教えていただき、四日市市役所で働きたいという思いが一層強くなった。

【今後の課題・目標】
試験の勉強

【選考があった場合、内容など】
インターンシップ研修希望調書の提出

【インターンシップ情報の入手先】※複数回答可。該当に○、その他は記述してください。
() PORTA () 企業 Web () 就活サイト () インターンシップ協議会
() 学内イベントや就業実践研修(旧インターンシップ研修)の授業 () 知人・友人など
(○) その他 以下に記述
[四日市市の Web]

以上